

(様式 5)

(処分業者用)

令和 0 7 年 7 月 1 0 日

長野県知事 様

令和 0 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 0 6 年度から令和 0 7 年度	
会 社 名	株式会社フロンティア・スピリット E・P・S	
住 所	〒399-0721 塩尻市大字金井 7 3 1 番地 3	
代 表 者 名	代表取締役 横 澤 英 樹	
区 分	中間処理 ・ 最終処分	
許 可 番 号	2 0 2 4 1 1 7 1 5 3	
処 理 施 設 所 在 地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所 在 地
	(株) フロンティア・スピリット E・P・S	塩尻市大字金井 7 2 9 番地
担 当 部 署	環境事業本部 環境部	
担 当 者 名	長橋 昭晴	
連 絡 先	TEL	0 2 6 3 - 5 6 - 2 2 8 0
	FAX	0 2 6 3 - 5 6 - 2 2 9 2
	電子メールアドレス	eps@po.mcci.or.jp
ホームページアドレス	http://www.f-spirit.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物処理のフロンティアグループ企業の一員として、関係法令を遵守した適正処理を基本に、効率的な産業廃棄物の収集運搬及び処分を行います。

また、弊社事業の柱である産業廃棄物のリサイクル事業推進の為、処理技術、リサイクル製品及びその販路の開発に取り組めます。

環境美化運動、施設の公開等住民の皆様とのコミュニケーションを積極的に図り、地域環境保全の一翼を担う ISO14001 認証取得企業としての責任を果たして参りたいと思います。

2 取組み目標

(1) リサイクル率目標値（中間処理の場合） (%)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和07年度 目標値	令和 06 年度 実績値	令和 05 年度 実績値	令和 04 年度 実績値
廃プラスチック	9 0	8 5	9 5	9 3
紙くず	7 0	6 8	9 5	8 8
繊維くず	4 0	3 6	9 1	8 1
全 体	6 7	6 3	9 3	8 7

(2) 再生利用量目標値（中間処理の場合） (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和06年度 目標値	令和 06 年度 実績値	令和 05 年度 実績値	令和 04 年度 実績値
廃プラスチック	1, 9 0 0	1, 8 6 0	1, 9 5 0	2, 3 0 0
紙くず	6 0 0	5 6 0	6 7 0	6 3 0
繊維くず	3 0 0	2 7 0	3 5 0	4 1 0
全 体	2, 8 0 0	2, 6 9 0	2, 9 7 0	3, 3 4 0

(3) 最終処分量目標値 (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和07年度 目標値	令和 06 年度 実績値	令和 05 年度 実績値	令和 04 年度 実績値
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	3 0 0	3 4 0	3 0 0	3 1 0
廃プラスチック	5	2	4	2
全 体	3 0 5	3 4 2	3 0 4	3 1 2

3 産業廃棄物管理体制

取扱う産業廃棄物の全体的な管理については、環境事業本部長 平林正幸を統括管理責任者として適正管理を行います。処理施設においては、法律で定められた技術管理者 工場長の重野忠志を中心に適正な施設運用を行い、フロンティアグループ内に安全衛生委員会を組織し施設内及び施設周辺の安全衛生に努めます。統括管理責任者と施設の技術管理者は、毎日の連絡を密に行い、管理データ、トラブル等について情報の共有に努めます。

*必要に応じ管理体制組織図等を添付する。

4 産業廃棄物の種類、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開

地元地区の皆様との公害防止協定に基づき、雨水排水、地下水、騒音、振動等の測定結果を地元の皆様に提示します。また、工場見学等のお客様に対しても必要に応じて、何時でも情報公開できるように記録を管理致します。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
(株) フロンティア・スピリットE・P・S	有・無	随時地域住民の皆様、一般排出事業者様からの要請に応え工場見学を実施し、当社の事業内容、適正処理への取組み等を理解して頂きます。
	有・無	

6 中間処理・最終処分を委託する場合の処理業者（施設）現地確認計画（中間処理業のみ）

区 分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	木くず	担当者が必要に応じて処理施設の現地確認を行ない、産業廃棄物処理委託先調査票に記録致します。
	廃プラスチック	同上
最終処分場	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	担当者が必要に応じて処理施設の現地確認を行ない、産業廃棄物処理委託先調査票に記録致します。

7 従業員教育（研修）計画

項 目	教育（研修）計画内容
社内講習会	ISO14001の教育訓練計画に従い、春と秋の年2回、全社員を対象に環境価値の理解向上、環境責任等について自覚教育を行います。

8 排出事業者への協力要請

廃棄物の収集運搬、中間処理の双方から得られたリサイクル率向上の為のノウハウや、効率的な適正処理の為の情報提供を行い、必要に応じて取引先排出事業者様にも協力を要請致します。

9 リサイクル技術向上に向けた取組み

RPF（固形燃料）の品質管理を継続的に行い、循環資源としての価値の向上を推進致します。

10 不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

全社員にISO14001の一環として、環境行動認識の社員教育を実施し、不適正処理に対する注意を喚起させています。不法投棄、不適正処理の現場を発見した際には、各所属長に報告し、各所属長は総務部長と相談のうえ速やかに関係機関に情報提供を行うとともに、できる限りの協力体制をとります。

11 自社処理廃棄物の管理方法

請負工事から発生する自社処理廃棄物についても、法律で定められた保管基準を遵守し、飛散、流出、悪臭、過剰保管等により周囲の環境を損なうことのないよう注意しながら適正処理を実施致します。

12 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

- ・環境認証制度※の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

ISO14001マネジメントプログラムに従い、月に3回会社周辺の清掃活動を実施、年に2回フロンティアグループで実施する「ゴミゼロ運動」にも全社員で参加し、施設周辺の環境美化に努めます。

※環境 ISO 14001、エコアクション 21 等